取扱説明書

エー・アンド・デイ　体重計
UC-352BLE

もくじ

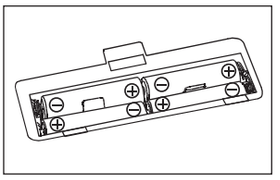
スタートアップガイド 1
安全上の注意.....2
付属品 4
各部のなまえ.....5
電池の入れ方（取り換え方） 6
データ通信について.....7
測定する.....11
仕様 12
精度ついて 12
修理、サービスを依頼される前に..... 13
お手入れの方法 13
廃棄処分するときは..... 13
保証規定..... 14
保証書..... 15

このたびは、お買いあげいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に必ずお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
うら表紙が保証書になっていますので、紛失しないようにご注意ください。

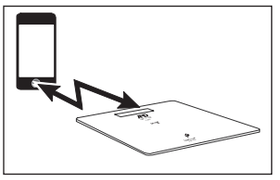
1WMPD4003116

スタートアップガイド

準 備

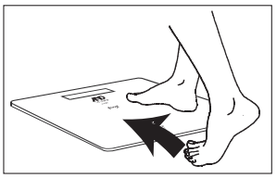


乾電池を入れる

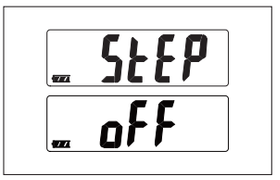


受信機器とペアリングを行う

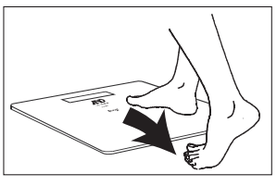
測 定



体重計に乗る



「step」と「off」の交互表示を確認



体重計から降りる

体重を確認する

※ 受信機器にデータが送信されます。
　受信機器がない場合、本体に記憶されます。

⏩ 安全上の注意

ここに示した内容は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。安全に正しくお使いいただくためによくお読みください。

⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性のある」内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄は「人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性がある」内容を示しています。
⃠	してはいけないこと（禁止）を示します。
❗	必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。

使用上の注意

❖一般的な注意事項

⚠ 警告	
⃠	● 減量や運動療法などおこなう場合は、自己判断しないでください。 医師または専門家の指導を受けてください。
	● 本体の端に乗ったり、飛び乗ったりしないでください。 転倒してけがをする原因になります。また、衝撃により、破損の原因になります。
	● すべりやすい場所で使用したり、濡れた足で乗ったりしないでください。 すべってけがをする原因になります。また、正確な測定ができません。

⚠ 注意	
⃠	● 正確に体重を測定するために、体重計を設置する場所は、平で堅い床面を選んでください。 じゅうたんなどの柔らかい床面では正しく測定できない場合があります。
	● 風呂場など、水分や水蒸気が多いところで使用しないでください。 故障の原因になります。
	● 衝撃を加えたり、落下させないでください。 守らないと、故障の原因になります。
	● 強い静電気や電磁波に近づけないでください。 守らないと、故障・誤動作の原因になります。
	● 分解・修理・改造はしないでください。 守らないと、故障・誤動作の原因になります。
❗	● 体が不自由な方は、介護の方が付き添いのうえ、ご使用ください。 転倒してけがをする原因になります。
	● この取扱説明書をよく読み、理解してから使用してください。 守らないと、事故・故障の原因になります。

❖乾電池の取り扱いについて

⚠注意	
	● 単４形アルカリ乾電池以外は使用しないでください。 守らないと、故障の原因になります。
	● 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。 守らないと、故障の原因になります。
	● 乾電池の（＋）と（－）を間違えて使用しないでください。 守らないと、故障の原因になります。
	● 万一、乾電池の液が目に入ったときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。 必ず医師の治療を受けてください。 守らないと、失明など障害の原因になります。
	● 万一、乾電池の液が皮膚や衣服についたときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。 守らないと、ケガなどの原因になります。
	● 電池の極性（＋、－）の方向を間違えないでください。 発熱や液漏れ、破裂などにより、本体の破損や、けがの原因になります。
	● 乾電池は、使い切ったら４個同時に新しいものと交換してください。 守らないと、故障の原因になります。
	● 長期間（１ヶ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出してください。 守らないと、故障の原因になります。
	● 使用済みの乾電池は、お住まいの市区町村の指導に従い処分してください。 守らないと、火災・事故の原因になります。

❖点検・修理について

⚠注意	
	● 異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。 守らないと、事故・故障の原因になります。

❖無線機能について

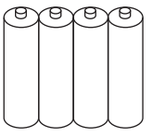
⚠警告	
	● 航空機や病院など、使用を禁止された区域では、使用しないでください。 電子機器や医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。

⚠注意	
	● この体重計には、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。そのため、本設備の無線機能を使用するときに無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内でのみ使用できます。
	● 本設備は工事設計認証を取得していますので、本設備を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
	● 2.4GHz 付近の電波を通信している無線装置などの近くで本設備を使用した通信をすると、双方の処理速度が落ちる場合があります。電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところでは使用しないでください。（環境により電波が届かない場合があります。）

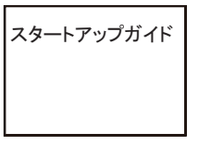
付属品

付属品に不足や破損がありましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

取扱説明書



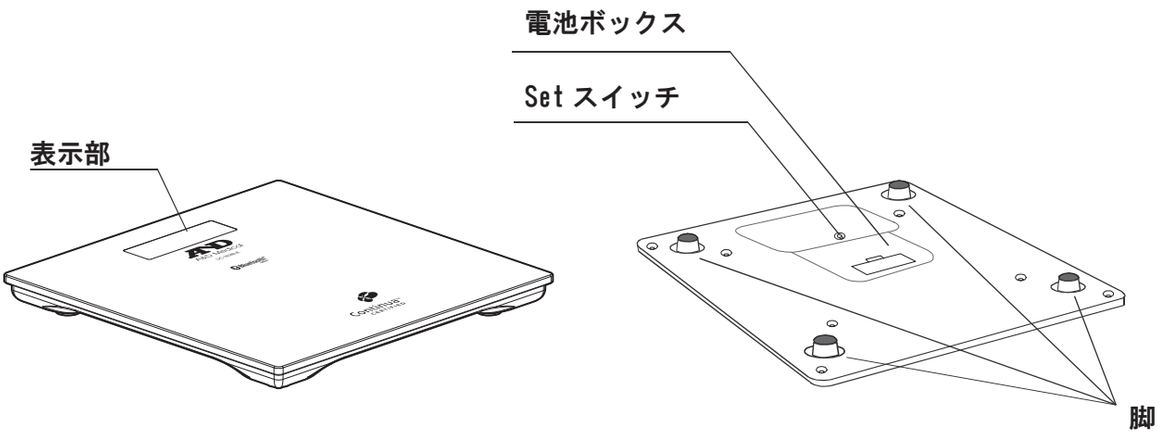
お試し用乾電池×４個



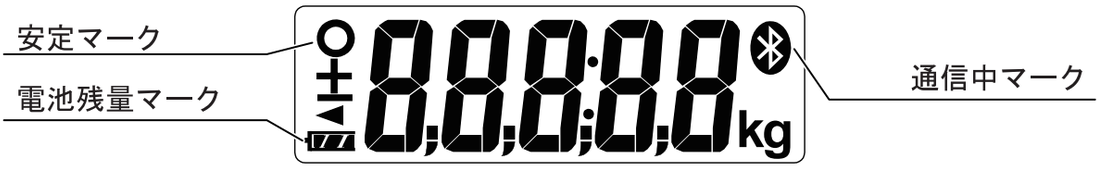
スタートアップガイド

⏩ 各部のなまえ

本製品部



表示部



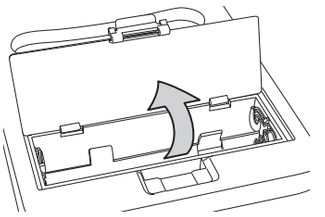
表示シンボル

❖ 表示部

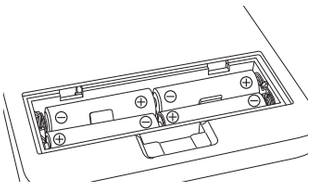
シンボル	名称	説明
○	安定マーク	測定表示が安定すると、このシンボルが表示されます。
	電池残量マーク ↓ 低電池残量 （点滅）	通常の電池残量
		このシンボルが点滅表示となった場合、乾電池は 4 個同時に新しい乾電池に交換して下さい。
	Bluetooth®通信マーク	

▶▶電池の入れ方（取り換え方）

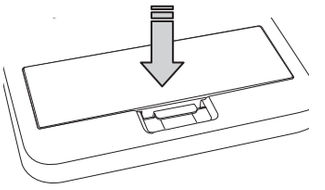
1. 体重計の電池ボックスのフタを開けます。



2. 乾電池の（＋）と（－）を間違えないように、
新しい単４形乾電池４個を入れてください。



3. 電池ボックスのフタを閉じます。



⚠注意

- 電池ボックスのマークに従い、乾電池の（＋）と（－）を間違えないよう入れてください。間違えると動作しません。
- 「▭」表示となった場合、４個同時に新しい乾電池に交換してください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池が完全に消耗すると、「▭」表示になりません。
- 乾電池の寿命は、乾電池の種類や周囲の温度により異なります。
- 長時間使用しない場合、乾電池を取り外してください。乾電池を入れたまま放置しますと、乾電池の液漏れが起こり故障の原因になります。
- 付属の乾電池はお試し用のため、寿命が短い場合があります。

自動電源オフ機能について

本製品には「自動電源オフ」機能があります。測定結果表示後、約 60 秒経過した場合、本製品は自動的に電源をオフします。

⏩データ通信について

Bluetooth®について

万一、本機から他の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに使用を停止してください。

❖良好な通信のために

- 通信相手とは見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと、通信不能な場合があります。
- *Bluetooth*®接続においては、無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなどの電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境では使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- IEEE802.11g/b/n の無線 LAN 機器の近くで使用すると、互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切るか、使用場所を変更してください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

❖お知らせ

- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は *Bluetooth*®対応のすべての機器との接続を保証したものではありません。

本製品の *Bluetooth*® 通信について

本製品の *Bluetooth*®無線機能を有しています。
以下の *Bluetooth*®機器と接続できます。

Bluetooth®の接続可能機器

- ●Continua 認証を取得した機器
- ●iPhone、iPad、iPod
- ●WSP 仕様に対応した受信機器

各機器は、データを受信するためのアプリケーションが必要です。
接続方法は、各機器のアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

受信機器との接続には「A&D Connect」アプリが使用できます。

接続はアプリの指示に従ってください。

Bluetooth®機器は、*Bluetooth*®のロゴマークが記載されています。

Continua の認証を取得した機器は、Continua のロゴマークが記載されています。

iPhone、iPad、iPod は米国および他の国々で登録された Apple　Inc.の商標です。
Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、A&D はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

受信機器にペアリングする

受信機器と *Bluetooth*®通信するためには、本製品を受信機器に登録する必要があります。この本製品を受信機器に登録を行うことをペアリングと呼びます。 ペアリングが完了すると、受信機器が受信できる状態である時、本製品の測定データは、測定するたびに自動的にペアリングをした受信機器に送られます。
受信機器は受信機器の説明書に従って、ペアリング可能な状態にしてください。受信機器にペアリングウィザードが準備されている場合は、そちらをお使いください。本製品と受信機器はできるだけ近くに置いて、ペアリングを行ってください。

1. 本製品に単 **4** 形アルカリ電池を **4** 本入れます。
   - 「電池の入れ方（取り換え方）」を参照してください。

2. 表示が消えていることを確認して、Set スイッチを押し続けます。
   - Set スイッチを押し続けると、「pr」が表示されます。

3. 「pr」が表示されたら、Set スイッチを離します。 ≪♪ピ≫
   - *Bluetooth*®通信マーク が点滅します。
   - 本製品が受信機器から発見可能になります。
   - ペアリングを取り消すには、「pr」が表示されたときに Set スイッチを押します。

4. 受信機器側にて、ペアリングを開始します。
   - 受信機器のペアリングの説明書に従って、本製品の検索、選択、ペアリングを行います。

5. 「end」が表示されることを確認します。 ≪♪ピピ≫

※ ペアリングを済ませている場合、電池交換時に再度ペアリングをする必要はありません。

ペアリング時の注意

- ■ ペアリングを行う際は、ほかの *Bluetooth*®機器の電源をオフにしてください。複数の機器のペアリングは同時にはできません。
- ■ 本製品は１台の受信機器とのペアリング情報を記憶して、通信することが可能です。
- ■ 測定データの受信ができなくなった場合は、再度ペアリングを試みてください。
- ■ 本製品を以前ペアリングしたことがある受信機器と再度ペアリングする場合は、受信機器にある本製品の機器情報を *Bluetooth*®の接続リストから削除してください。
- ■ 新たにペアリングする場合は、以前に通信した機器のペアリングが解除されます。

測定とデータ送信

ペアリング後の通信は、以下の手順で自動的に行われます。
受信機器は、通信可能状態にしておいてください。

1. 測定を開始します。
   - 「測定する」を参照してください。

2. 送信された測定データを受信機で確認します。
   - 測定終了後、測定データが受信機器に送信されます。

測定時の注意

- 本製品と受信機器との通信距離は、約 10m です。
  この距離は周囲の環境によって短くなりますので、測定後データが届く距離を確認してください。

データの一時保管

外出時の測定等、受信機器が測定データを受信できなかった場合は、測定データは測定時刻とともに本製品に、自動的に最大 90 データまで一時保管されます。90 データを超えた場合は最も古いデータが消去され、新しいデータが保管されます。
保管されたデータは、次回測定時に受信機器と接続が成功したときにまとめて送信され、受信が確認されると自動的に消去されます。
この一時保管容量は、受信機器によって変更されることがあります。

時刻について

本製品は、時計を内蔵しています。測定データは、測定した日時を含んでいます。
時刻は、受信機器側の時計の時刻に同期させるように設計されています。
受信機器側の仕様を参照してください。

時刻の注意

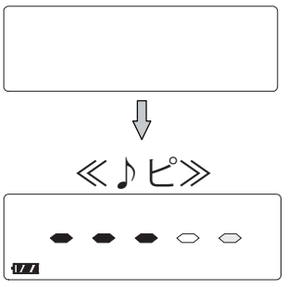
- 本製品に内蔵されている時計は、受信機器側の機能により、合わせられます。
- 測定中に時刻合わせが行われますが、この時刻は次回測定から反映されます。

⏩測定する

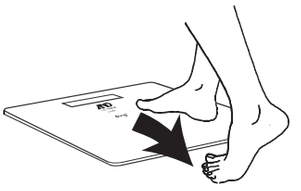
❖お知らせ

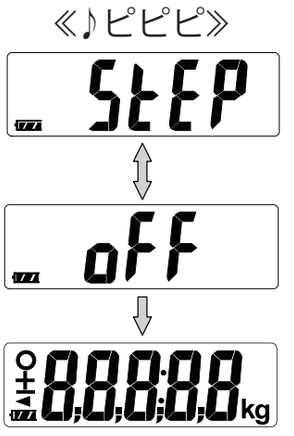
■ 10kg 以下は測定できません。

1. 表示が消えていることを確認して、本製品に乗ります。
   - 本製品に乗ると、測定が開始されます。
   - 測定中はバーが表示されますので、直立したままなるべく動かないでください。



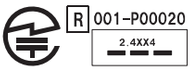
2. 「step」と「off」が交互に表示されてブザー（♪ピピピ）が鳴ったら、本製品から降ります。
   - 本製品から降りると、全点灯表示になります。
   - 全点灯中は本製品に触れないでください。誤差の原因になります。
   - 乗り続けていると、2 秒間隔でブザー(♪ピ)が鳴ります。
   - ２分経過すると自動的に電源が切れます。





3. 測定結果を確認します。
   - 受信機器が受信できる状態である時、データが自動的に受信機器に送信されます
   - 本製品が受信機器にペアリングされていない場合、データは本製品のメモリに記録されます。
     (「データの一時保管」を参照してください。)
   - 本製品のメモリに記録されたデータは、本製品では確認できません。
     メモリに記録されたデータを確認するには、受信機器にデータを転送し、アプリケーションで表示します。
   - 測定結果表示後、約 60 秒経過すると自動的に電源が切れます。
   - 測定結果表示中に本製品を足で押すと、電源が切れます。
   - Set スイッチを押して、電源を切ることもできます。

仕様

型式	UC-352BLE
最大計量	150kg
最小表示	10～100kg まで　0.1kg 単位 100～150kg まで　0.2kg 単位
通信	LBCA2ZZVZE（MURATA Manufucturing Co. Ltd） *Bluetooth*® Ver.4.0（Bluetooth Low Energy）WSP 本製品には、電波法の規制により工事設計認証を取得した無線設備が内蔵されています。 
通信内容	体重、測定時刻
電源	単 4 形アルカリ乾電池×4 個
電池寿命	約 1 年（アルカリ乾電池使用時　1 日 2 回測定）
外形寸法	300（W）×　300（D）×　31（H）mm
質量	約 2.1kg （電池含む）
付属品	取扱説明書、お試し用乾電池、スタートアップガイド

※ お断り無く仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

精度ついて

保証精度の範囲

本製品は、計量法に定められた技術基準で製造し、厳重な検査の上、出荷しております。
なお、製品の保証範囲は以下の通りです。

計量範囲	保証精度
0～75kg まで	±200g
75～100kg まで	±300g
100～150kg まで	±600g

ご家庭での使用が主な目的なので、業務用（品物の売買取引やその他の目方を証明する場合）にはご使用になれません。

修理、サービスを依頼される前に

こんなとき	ここを確認
E	乾電池を入れ直してください。（６ページ） 復帰しない場合は、修理依頼をお願いします。
	測定可能範囲を越えていませんか？
E-0	測定可能範囲を越えていませんか？
Err	
E-11	ペアリング、ペアリング解除、メモリクリアが正常動作していません。 乾電池を入れ直してください。
E-10	
	乾電池を入れ直してください。 または新しい単４形アルカリ乾電池４個に交換してください。
Set スイッチを長押しても何も表示されない	
体重計に乗っても何も表示されない	
体重値が極端にズレている	じゅうたん、畳などやわらかいものの上で使用していませんか？ 体重計の下に何か物がはいりこんでいませんか？

お手入れの方法

- 水や中性洗剤をしみこませた布を固く絞って本製品を拭いてください。汚れを拭きとった後は、乾いたやわらかい布で、から拭きをしてください。
- 有機溶剤（シンナー、ベンゼンなど）は使用しないでください。

廃棄処分するときは

- 本製品を廃棄する際は、各自治体の分別方法に従って廃棄してください。

保証規定

次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

1 誤ったご使用またはお取り扱いによる故障または損傷
2 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷
3 不適切な修理・改造および分解、その他のお手入れによる故障または損傷
4 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷
5 保証書のご提示がない場合。
6 保証書にご購入年月日、保障期間、ご購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
7 ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換

■ 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
■ 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only Japan.

※ ご購入店または弊社営業所にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様がご負担願います。